

科学の本質を知り、意見を交わす

—福井県合同課題研究発表会—

- ◇期 日:令和8年3月14日(土)
- ◇場 所:AOSSA 福井県県民ホール等 (福井市)
- ◇参加者:SS 化学部員 6名、SS 生物部員 3名
- ◇引 率:浮田直美先生(SS 化学部顧問)

SS 化学・生物部員 9名は、ふくいサイエンスフェスタ 2025 と福井県合同課題研究発表会に参加した。



ふくいサイエンスフェスタ 2025 では、「キラ触媒による不斉反応の研究」で 2001 年にノーベル化学賞を受賞された野依良治先生の講演「私の歩んだ道。君たちは何処へ向かうのか」を聞いた。野依先生は神戸大空襲の経験から「戦争に巻き込まれてはいけない」と話された。その後、自身の研究について、高校生でも理解できるよう、わかりやすく説明してくださった。また、現代の日本や世界が科学技術進歩の恩恵を受けつつ、それにより引き起こされた問題を無視してしまう矛盾内蔵型の社会に対する警鐘を鳴らされた。さらに、日本の文化を大切にすることで多文化社会に対する敬意が生まれること、それぞれの国の文化を大切にすることの重要性を述べられた。そして、科学者としてナンバーワンではなくオンリーワンを目指してほしいと話された。

福井県合同課題研究発表会では、口頭発表の分科会発表で SS 化学・生物部それぞれ 1 件ずつ発表した。SS 化学部は福井大学の佐々木隆教授に、SS 生物部は福井県立大学の松井孝憲准教授にご助言を頂いた。また、その後のポスター発表では、SS 化学部が 2 件、SS 生物部が 1 件、25 分間ずつ発表した。他校の生徒と活発に意見を交わし、他校の先生方や大学教授をはじめとした専門家の方々から研究やポスター作成におけるご助言を頂いた。

講演会や発表会の参加を通して、自分たちの今後の考察が深まり、課題が明瞭となった。また、他校の研究の発表を聞き、自分たちの視野を広げることができたと考える。今回の貴重な経験をさせていただいたことに感謝し、今後の残りの学校生活や部活動を充実したものへとしていきたい。